

発行：新潟北高等学校

24110135

お久しぶりです(*^_^*)

日常の忙しさにかまけて少々広報

活動をサボっており大変申し訳ありませんでした m(_ _)m

本来ならば、本県を中心として行われたインターハイや国体に

おける本校生徒の活躍などをお伝えすべきところではあります

がご容赦いただきたいと思います。

さて、本日11月1日をもって本校は創立30周年を迎えた。このことは、知る人ぞ知るところであり、今月17日(土)には記念行事を控え、急ピッチで準備が進められている。そうした取組の一端を中心に、今号では紹介していくこととしたい。

人文字の作成

10月3日(水)快晴というわけでもなく、航空写真を撮るにはもってこいという天候となり、ホッと一安心(^_^;) どうせ航空写真を撮るならばと練りに練って以前から「校章」と「30」を組み合わせた人文字を作成する計画していた。(実際には数日前、いや、

半月ほど前だったかなあ。生徒会を通じて、ある職員に図面の作成を依頼したのは。)

緻密な図面が完成し、前月26日に予行を敢行。その際、体育のH教諭にグラウンド上に図面と同様の白線を引いて欲しいと懇願。全てメジャーを使って白線を引くものと勝手に想像していた私は驚愕するやら感心するやら。最初はメジャーを使用したものの円を利用し、フリーハンドで引いていくではないか(*_*) さすがというか、見事というしかないものであった。そうこうしてできあがった人文字がこれだ~!!

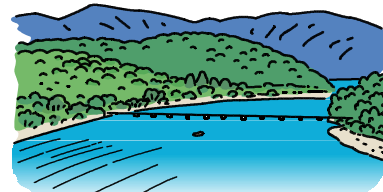


当日欠席は除いて生徒は全員このどこかに写っているはずだし、なんと教職員も入っているんだよ～。(約1名：この私を除いては(T_T)まあ、4階から指示を出す役目も必要だからなどと自らを慰めつつも疎外感が……。)本当は、同窓生やPTAの皆さん、後援会の皆さんにも参加してもらった上で人文字を作成したかったのだが、こちらの(いや私の)準備不足で申し訳ないことをしたと悔いている次第です。次回機会があればしっかり準備してから臨んでほしいと思っている。

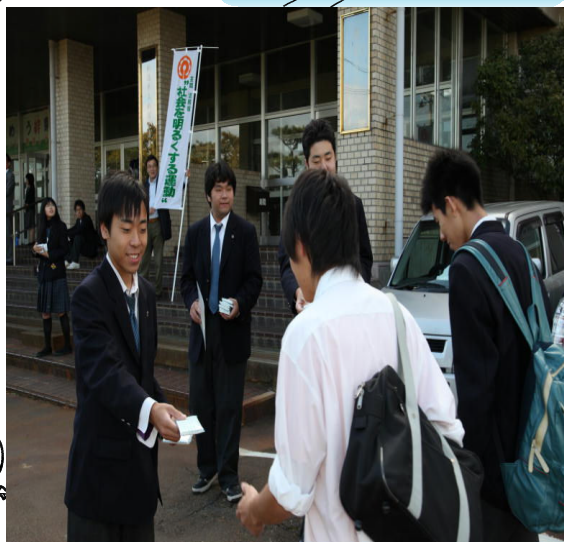


青き空 遙かにのぞみ……」

これは校歌の1番の歌い出しの部分である。ちょうどこのとき撮影した写真の中でこの風景にぴったりフィットする1枚があったので掲載させていただいた。**本校の伝統が30年と言わず、40年、50年と受け継がれていってくれることを願ってやまない。**



中間考査も終了した今日16日火曜日。大形地区青少年育成協議会、保護司会などの地域の方々と本校のボランティア部が本校生徒の登校時間に合わせて「非行防止キャンペーン」の一環としての推進運動を実施した。当日は朝8時からの実施であったが、皆一生懸命声を張り上げ「非行防止」を呼びかけており、清々しい光景であった。本校ではこうした地域と連携した運動に今後も積極的に取り組んでいこうと考えている(^_^)v



今年度の北星祭は、創立30周年記念の冠をいただいた特別企画のものとなった。1年半前に起こった東日本大震災で被災した3県の食や文化の紹介をメイン



に構成された内容となった。ちなみに左の写真に写っている看板は、本校の誇るボクシングの鬼＝小林将也君の手であると聞いている。また、皆を出迎えてくれた被災3県のキャラクターは、生徒会執行部が一生懸命作ったものである。



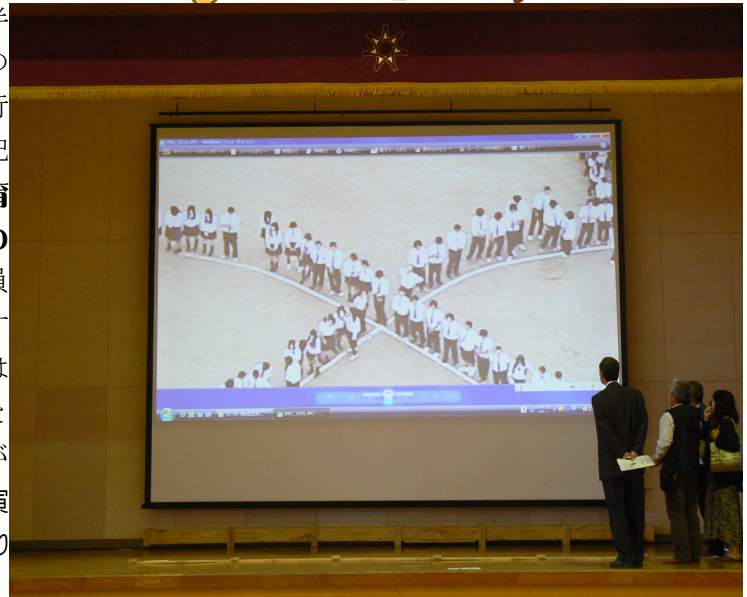
あいにく北星祭当日、私は市立高志高校の閉校式に参列しており、ゆっくり各企画を観ることができなかったものの、それぞれがテーマに沿ったものであり、懸命に取り組んだ証となったようである。中でも出色の企画は、岩手県の南部凧の製作展示を行った2年2組であったともっぱらの評判であった。

当日、受付を通過して会場入りした一般客は334名であった。(ちょっと少ない気もするが、当日は他校でも文化祭が行われているなどの要因があったことは否めない。と同時に、今後にはまだまだ工夫する余地があることを示してくれたと受け止めるべき数字だろう。) また、直前に校舎周りの清掃活動を実施してくれたPTA会員の皆様やクラブの練習の手を休めて協力してくれたサッカー部員、野球部員からの支援があったおかげでもあるということを忘れてはいけない。(「そういえば、例年に比べてゴミが少なかったなあ。」)



創立30周年記念事業

創立30周年記念式典をおよそ半月後に控えた28日(日)に最終の打合せをということで、第6回実行委員会が開かれた。その席上で、記念事業の目玉の一つである**第1体育館ステージ上への大型スクリーンの設置**がなされ、参加された実行委員の皆様披露された。バトンに吊す方式を採用したものの既存の梁ではその重みに耐えられないということから、補強工事を施してからの大がかりなものとなった。今後は、講演会などの諸行事の際に活用をしっかりと活用を図っていききたい。



また、この場を借りて学校側の要望を受け止め、真摯に対応していただいた関係の皆様方に感謝したい。「ありがとうございました<(_ _)>」



第6回実行委員会の様子

こうした中、またまた朗報が飛び込んできた。

今度は世界に飛翔することとなった

小林君の健闘を期待したい。

祝 小林将也君
世界ユースボクシング選手権大会出場